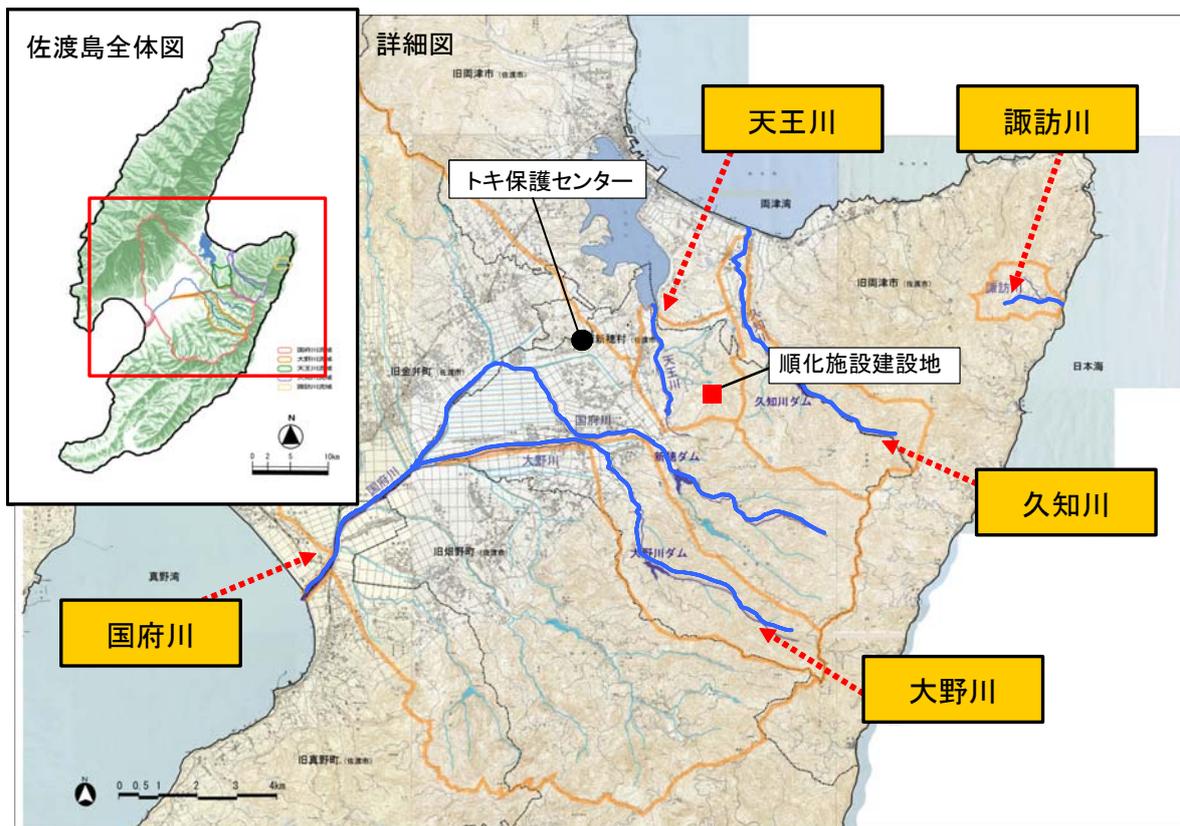


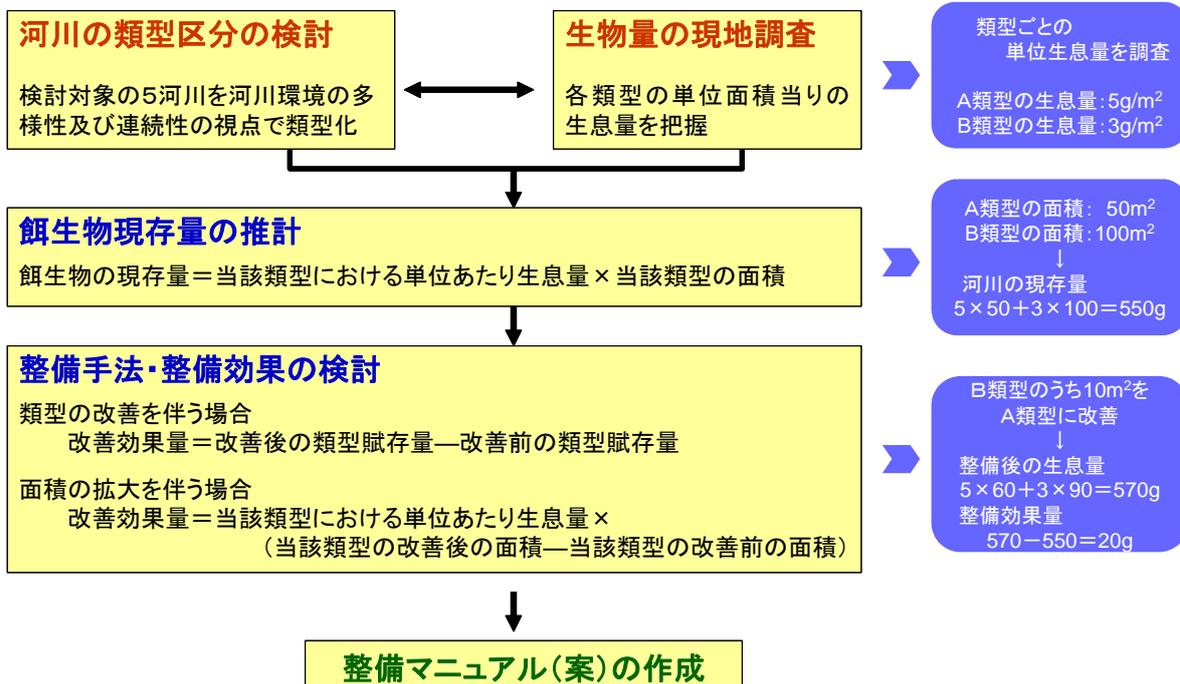
# トキの野生復帰のための生息環境の整備方策策定調査結果の概要

## 1. 調査概要

トキの野生復帰に向けて、河川として整備すべき内容を佐渡島の5河川（地図参照）を対象に、下記のフローに従って検討した。

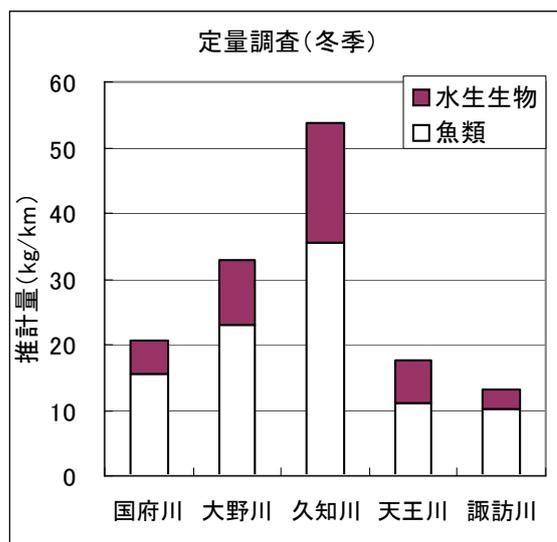


### 推計方法のイメージ



比較的多様な環境が多い大野川と久知川は餌生物の現存量が多く、単調化した河道区間が多い天王川と諏訪川は、餌生物量が少なかった。

また、新潟県が「トキの野生復帰に向けた川づくり検討委員会」で検討した整備計画に基づく整備を行うと、冬季における餌生物量が現在の1.4倍に増加することが推定された。



## 2. 本調査の活用について

事業主体である新潟県では、トキの野生復帰を目指した地元住民や他機関の取り組みと連携をとりながら、トキの餌場や生息環境の確保を目指し、平成17年度より河川における自然再生事業を実施している。

今後は、本調査で取りまとめられた餌生物の現存量の推計手法及び整備手法を基に、夏季・秋季の生物現存量などの検討を行ったうえで、湿地の創出、魚道の設置などを実施する予定である。



整備イメージ

河川の自然再生河岸、河床の再自然化



整備イメージ

河川の縦断方向の連続性の確保



整備イメージ

河川と水田・水路との連続性(横断方向の連続性)の確保